

オペラシアターこんにゃく座 林光追悼公演

新演出・福岡公演



オペラ 森は生きている

2012年
12月16日(日)

1ステージ目 14:30開演(14:00開場)

2ステージ目 18:30開演(18:00開場)

会場 福岡市立中央市民センター・ホール

「森は生きている」初演の客席で、憎らしいおっ母さんにキャラメル空き箱を投げ、娘が必死となえる「指輪の呪文」に拍手をおくり、劇がおわると「もえろ もえろ あざやかに」とうたいながら帰ってゆく、ちいさな観客たちにはげまされて、私は音楽を一生のしごとにしよつとついうっかり覚悟をきめてしまった。

— 林光《森は生きている楽譜集・あとがき》一ツ橋書房 —

1954年「森は生きている」は俳優座劇場で日本初演されました。劇音楽を担当したのは当時22歳の林光。その後林光はマルシャークも書けなかった劇中歌を拾い出し、いくつもの歌を作曲しました。その歌が相当な数になった頃「そろそろ“森”をオペラにしませんか」というこんにゃく座からの申し出を受けた林光は自ら台本を書き、1992年オペラ『森は生きている』が完成、こんにゃく座により初演されました。その後毎年公演を重ね、誕生から20年を迎える今年、こんにゃく座の歌役者・大石哲史の演出により、またひとつ新しい『森は生きている』がいま、生まれます。



原作 サムイル・マルシャーク(湯浅芳子訳による)
台本・作曲 林光
演出 大石哲史



林光(はやしひかる) / 作曲家

1931年生まれ。長年オペラシアターこんにゃく座の芸術監督・座付作曲家をつとめる。代表作にオペラ『ゼロ弾きのゴーシュ』、オペラ『変身』など。室内楽曲、オーケストラ曲、劇音楽、映画音楽等に優れた作品を多数残す。また、こどもからおとなまで、ともに歌えるたくさんのおうたを作曲した。2012年1月没。

美術 池田ともゆき
衣裳 半田悦子
照明 成瀬一裕
振付 楠原竜也
舞台監督 久寿田義晴
演出助手 立山ひろみ
宣伝美術 小田善久(チラシ表デザイン)・福田利之(イラスト)
音楽監督 萩京子



イベント 「林光さんの思い出を語る」

出演：大原哲夫(元小学館・『林光の音楽』編集長)

日時：2012年12月15日(土) 19:00

会場：東方遊酒家 ヌワラエリヤ(福岡市中央区赤坂1-1-5 鶴田けやきビル2F)

参加費：4,000円(懇親会費込・要予約) *こんにゃく座出演者も参加予定

予約・お問い合わせ：ブックスキューブリックけやき通り店 TEL.092-711-1180



1月・総理大臣
高野うろお



2月・カラス
北野雄一郎



3月・女官長
齊藤路都



4月・警護隊長
島田大翼



5月・ウサギ
石窪朋



6月・もうひとりのむすめ
豊島理恵



7月・むすめ
太田まり



8月・リス
川中裕子



9月・おっかさん
岡原真弓



10月・女王
田中さとみ



11月・兵士
佐藤久司



12月・博士
佐藤敏之



ピアノ
榎原紀保子

チケット料金

一般 3,500円(当日4,000円)
高校生以下 2,500円(当日3,000円) * 3歳未満入場不可
全席自由・託児サービスあり(要予約・定員あり)

チケット取り扱い

ブックスキューブリックけやき通り店 TEL.092-711-1180
ブックスキューブリック箱崎店 TEL.092-645-0630
㈱ヤマミュージック九州・福岡店(福岡ビル) TEL.092-721-7633
チケットぴあ TEL.0570-02-9999【Pコード:424-414】
*宅配便での発送も対応いたします。(5枚以上・詳細はTEL.092-711-1180にお問合せください)

会場

福岡市立中央市民センター・ホール

福岡市中央区赤坂2-5-8 TEL.092-714-5521

地下鉄空港線「赤坂駅」2番出口より徒歩約5分

赤坂門バス停より徒歩約5分 警固町バス停より徒歩約3分

主催・お問い合わせ ブックスキューブリック

〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-1-12
TEL.092-711-1180 FAX.092-711-1186
mail:info@bookskubrick.jp http://www.bookskubrick.jp

後援：福岡市、㈱ヤマミュージック九州・福岡店 協力：「こんにゃく座」を楽しむ会、武満徹の小宇宙企画の会

